

二度の^{きよ だい じ しん}巨大地震の跡



^{みや わき}宮脇遺跡

(曾於郡大崎町井俣宮脇)



^{き かい}鬼界カルデラの^{ふんか}火山噴火（約 7,300 年前）に^{ゆうはつ}誘発された^{ともな}巨大地震に伴う、^{あと}液状化現象の跡が発見されました。

液状化現象の跡と考えられる^{さ そう}砂層は、鬼界カルデラの火山噴火の際に積もったアカホヤ火山^{ばい そう}灰層の下の部分と真ん中の部分に^{そうたいせき}2層堆積しています。

液状化現象は、水を含んだ^{ふく}砂質の^{ち そう}地層が地震の際に液体のように^{ふ き}噴き出す現象です。宮脇遺跡で発見された2つの砂層は、鬼界カルデラ噴火に誘発された大地震が2度あったことを^{うらづ}裏付けることになりました。



作業風景



空から見た宮脇遺跡